

《短報》

山口県におけるベニイカリモンガの初記録

徳永浩之

〒750-0322 山口県下関市菊川町檜崎 752

ベニイカリモンガ *Callichula attenuata* は、チョウ目イカリモンガ科に属する昼行性のガで、四国、九州の南部、五島列島福江島、種子島、屋久島、奄美大島、沖縄本島、石垣島、西表島、台湾、インド北部、シッキムに分布する(井上ほか, 1982)。本州における正式な文献記録は確認できていないが、インターネット上においては広島県廿日市市と岡山県から報告がなされている。

今回山口県において1個体ではあるが本種を確認したので報告する。

ベニイカリモンガ成虫を2012年9月11日11時25分頃に山口県下関市豊田町今出の溪流沿いで確認した。発見場所の溪流は、常緑樹と落葉樹の混合林で、林床が草本類で覆われた場所であった(図1)。

本種はやや薄暗い溪流を沿うように飛翔し、林床のシダ植物にとまっていた。とまっている時は、翅を閉じていたが(図2)、撮影のためにカメラのストロボを発光させると、その度に激しく翅を震わせた(図3)。なお、撮影および観察のみで標本の採集は行っていない。



図1. 生息地の環境(山口県下関市豊田町今出)

本種の幼虫の食草はイワヒトデとの報告があることから(井之口・宮田, 1999)、今後は今回成虫を確認した場所周辺のイワヒトデを中心に卵および幼虫の調査を行い、定着の有無を確認したい。



図2. 翅を閉じてとまるベニイカリモンガ



図3. 翅を開いてとまるベニイカリモンガ

徳永浩之

引用文献

- 井上寛, 杉繁郎, 黒子浩, 森内茂, 川辺湛, 大和田守 (1982) 「日本産蛾類大図鑑 第1巻: 解説編」:
579p. 講談社
- 井之口希秀・宮田彬 (1999) ベニイカリモンガの生活史. 昆虫と自然, 34(13): 18 - 20.